

第三者評価結果

事業所名：スターチャイルド《たまブラザーナーサリー》

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
A-1-(1)-① 【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<コメント>	
全体的な計画は、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえ、保育理念や保育目標及び保育方針に基づいて作成しています。園は、法人作成の計画を基に、子どもの発達を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域性を考慮して作成しています。作成された全体的な計画を、全職員で研修し、理解を深め、計画を基に月間指導計画などの計画を作成しています。全体的な計画は、年度末の会議で職員の意見を取り入れ、次の作成に生かしています。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
A-1-(2)-① 【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント>	
保育室は、開口部が広く採光が十分取られ、室温、湿度、換気など適切な状態が保たれ、子どもたちが心地よく過ごせる環境となっています。保育所内外の設備・用具は、衛生係・環境整備係を設け、「掃除チェック表」「安全チェックリスト」を用いて点検しています。また、0,1歳児が使用する布団は定期的に布団乾燥を実施するなど衛生管理に努めています。カリキュラムごとに家具などの環境設定を検討していて、遊具は子どもたちが取り出しやすく、片付けやすい工夫をしています。子どもがくつろいだり、落ち着け場所として、デン（巣穴や隠れ家の意）や保育士から見えて他の子どもから隠れる場所などを用意しています。手洗い場・トイレは、明るく清潔で、「泉」と称する手洗い場は、子どもの背丈に合わせた高さで子どもが利用しやすい作りとなっています。	
A-1-(2)-② 【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント>	
子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの状況を、乳児会議・幼児会議で話し合い、会議では個々の子どもの様子を伝え、個別の関わりを全職員に周知し、個人差を尊重した対応をしています。一人ひとりの子どもの発達に合わせ、応答的な関わりを大切にして子どもの欲求を受け止め、子どもの気持ちに寄り添って対応するよう心掛けています。職員は、「差別禁止マニュアル」や「保育者マニュアル」の「具体的な実践」などを確認して子どもには、肯定的で安心できる優しい言葉かけをするように努めています。また、施設長は、子どもの欲求すべてを受け入れ、安心感を持てるよう時には、スキンシップを図って子どもに伝えることも大切と職員に伝えていきます。職員間で互いに気付き合うよう努めています。	
A-1-(2)-③ 【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント>	
一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう、会議で子どもの発達の状況を把握し、個々に応じてきめ細やかな対応ができるよう心掛けています。生活習慣の習得にあたって、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して、子どもが達成感、自己肯定感が得られるよう見守り、援助しています。一人ひとりの子どもの状態に応じて活動と休息のバランスが保たれるよう配慮しています。生活習慣を身につける大切さについて、子どもの年齢に応じて、気持ちよくなりやってみようとする気持ちが育つよう見守り、働きかけています。子どもたちは、異年齢で過ごすことも多く、年下の子どもは年上の子どもを見て、憧れ、自分もやってみようという気持ちが生まれ、基本的な生活習慣を身につけています。5歳児クラスになると1日の流れを理解し、促されずに自ら行動できるようになっています。	
A-1-(2)-④ 【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント>	
施設長は、子どもの心が動いた時に自ら自分で選べるよう配慮し、自由に遊べる環境を整えています。職員は、子どもが自発性を発揮できる保育を学び、取り入れています。幼児クラスは朝の会でやりたいことの意見を述べたり、「子ども会議」で意見を話し合うなど子どもが自発性を発揮できるよう援助しています。戸外では鬼ごっこやボール遊びなど、また室内ではリズム遊びや足腰を使った全身運動など子どもたちは年齢に応じて遊びの中で身体を動かしています。また、幼児クラスは月2回専任講師による体操教室を実施しています。天気が良ければ毎日、散歩に出かけ、紅葉や木の実などの四季の自然に触れ、戸外で遊ぶ環境を確保しています。保育士は、子どもたちが自分たちで決めたことを友だちと協力して活動して達成感を感じられるように援助しています。年齢ごとの年間指導計画に運動・言葉・制作・音楽リズムなどが記載され、様々な表現活動が用意され、劇ごっこや音楽を使用した身体表現などを体験しています。	

<p>A-1-(2)-⑤ 【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
---	---

<コメント>

0歳児クラスでは、個々の子どもの状況に応じて個別に対応し、穏やかな気持ちで過ごせるよう生活空間を分け、安心して長時間過ごすことができる環境を整えています。保育士は、子どもと愛着関係を築き、情緒の安定を図るよう努め、子どもの仕草や喃語、言葉に応え、やさしい声掛けや対応をしています。子どもが、興味と関心を持つことができるよう、指先を使う手作り玩具を多数用意し、子どもの発達状況に応じて環境設定を変えています。保護者とは、日々の送迎時や保育園向けアプリを活用して連携を図り、ドキュメンテーションの写真や動画で日々の様子を伝えています。離乳食に関しては、担任を通して、栄養士とも連携して、進み具合や刻みの状況を確認しながら個々に対応しています。

<p>A-1-(2)-⑥ 【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
---	---

<コメント>

保育士は、子どもの自分でしようとする気持ちを尊重し、発達状況を把握して対応しています。子どもが様々な探索活動ができるよう安全に配慮した環境の整備を行っています。子どもが自発的な活動ができるよう、子どもの気持ちを受け止め応答的な関わりから遊びが展開するよう援助しています。子どもの自我の育ちを受け止め、一人の人間として尊重し、子どもにとってどうか、子どもの意思や状況を把握して対応するように努めています。様々な年齢の子どもや、食育活動では栄養士、また、英語や体操教室の講師などとも関わりを図っています。保護者とは、保育園向けアプリを用いて情報を共有しています。トイレトレーニングなどは、個別に家庭と連携を図り、他の子どもと比べない事を共通認識として無理なく進めています。

<p>A-1-(2)-⑦ 【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
--	---

<コメント>

3歳児の保育に関して、子どもが何を思っているのか、子どもの興味を引き出し、好きな遊びができるよう環境を整え、保育士は集団を意識しながらも個別の対応もするよう援助しています。4歳児の保育に関しては、みんなと一緒にすることが楽しい、興味関心を持って沢山の経験を積むよう援助しています。5歳児の保育に関しては、友だちと協力してやり遂げる事が素晴らしかったことを知った様々な体験を年下の子どもたちにも伝えていく役割を理解するよう援助しています。子どもの育ちや取組んできた協同的な活動等について、保護者には保育園向けアプリやドキュメンテーションで伝えています。

<p>A-1-(2)-⑧ 【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	b
---	---

<コメント>

園舎はバリアフリーになっていて、多目的トイレとエレベーターを整備しています。障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連付けます。計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っています。子ども同士は、区別なく、普通に友だちとして関わっています。保護者とも定期的に連絡を取り合い、必要な情報を共有して園での保育に生かしています。必要に応じて、地域療育センターあおばや青葉区役所ソーシャルワーカーと情報を共有し、相談や助言を受けています。職員は、横浜市主催や法人のキャリアアップなどで研修を受けて知識や情報を得ています。保護者にはクラス懇談会などで、障害のある子どもの保育に関する園での取組を伝えています。

<p>A-1-(2)-⑨ 【A10】 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
--	---

<コメント>

「延長保育指導計画」があり、月毎の乳児クラス、幼児クラスの配慮事項が記載され、それを基に1日の生活を見通して、連続性に配慮した取組になっています。家庭的でゆったり過ごすことができるよう、休息を取れる場所も確保するなど環境を整えています。子どもの状況に応じて玩具や遊びの工夫をしています。年上の子どもが年下の子どもに優しく接することことができるよう、安全に気を付けて年齢の異なる子どもと一緒に過ごせる環境を作っています。保育時間の長い子どもに配慮した夕食を提供しています。保育士間の引き継ぎは、担任から遅番保育士へ口頭で伝えると共に一人ひとりの子どもの様子を記入した「引継ぎ簿」を用いています。必要と思われる伝達事項は確認できる体制となっていて、担任以外でも保護者と連携が取れるようになっています。

<p>A-1-(2)-⑩ 【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a
--	---

<コメント>

全体的な計画や年間指導計画などに就学に関する内容を記載し、「アプローチカリキュラム(小学校に向けての円滑な接続計画、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、幼保小連携、家庭との連携など)」を作成して就学を見通した計画に基づいて保育活動を実施しています。5歳児は10月から午睡の時間を利用した「就学前教室」で、ワーク、習字、指編み、迷路などの知育遊び等を実施しています。また、小学校でマスク着用にならないようにマスク着用を練習しています。保護者には、小学校だよりを掲示して情報を提供しています。幼保小連携事業で就学に向けた小学校との連携を図っています。保育所児童保育要録を担任が作成し、施設長が確認しています。

A-1-(3) 健康管理	第三者評価結果
【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもの健康管理に関するマニュアルに基づいて一人ひとりの子どもの健康状態を把握しています。子どもの体調の変化やけが・事故に関しては、必要に応じて事前に保護者に電話で報告し、降園時に降園後の対応を話し合い、翌日の登園時に事後の確認をしています。また、場合によってはその日の夕方電話を入れて確認をすることもあります。子どもの保健に関する「保健計画」は、毎日・毎月・随時行うものを季節ごとの4期に分けて作成しています。登園時に子どもの様子を観察し、体温測定、連絡帳の確認や保護者から様子を聞くなどしています。入園時に得た既往歴等の新たな情報は、保護者に健康台帳に再記入してもらい、職員間で情報を共有しています。園の子ども健康に関する方針や取組は園だよりや保健だよりで知らせています。乳幼児突然死症候群対策として、0・1歳児は5分間隔、2歳児以上は20分毎に入眠時の呼吸、顔色、身体の向きをチェックして記録しています。保護者に対して、乳幼児突然死症候群に関する情報は、ポスターを掲示して注意喚起をしています。</p>	
【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>年2回、健康診断と歯科健診が行われ、結果は健康台帳に記録され、関係職員に周知しています。保護者には結果を書面で知らせています。子どもたちには、健康診断・歯科健診の前の日に担任から話をし健康に関する大切さを伝えています。また、毎月施設長が話をする機会を持ち、月によって季節に合わせた題材を話して子どもたちに伝えています。例えば、8月は熱中症と水分について、悪いウンチと良いウンチについて、12月はくしゃみとばい菌のとど距離など、子どもが興味を持つよう体の仕組みや健康に関する知育保育が行われています。</p>	
【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>「アレルギー対応ガイドライン」を基に、子どもの状況に応じた適切な対応をしています。食物アレルギーについては、医師の記入した「保育所におけるアレルギー疾患等生活管理指導表」を提出してもらい、除去食を提供しています。保護者とは、毎月の専用献立を事前に確認してもらうなど連携を密にしています。食事の提供において、介助する職員はエプロンを変え、テーブルやトレイ、食器が異なることを子どもたちに説明しています。子どもたちは、除去食が無い日は、一緒に食べられることを喜んでいます。職員は、研修等で必要な知識・情報を得て、他の職員にも周知して情報を共有しています。保護者には、入園説明会でアレルギー疾患、慢性疾患等の取組を伝えています。</p>	
A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもたちが、食に関する豊かな経験ができるよう、「食育計画」を作成して取組んでいます。食育活動では、毎月年齢に応じて食材を触る、食事のマナー、夏野菜の栽培などの他、クッキングに取組んでいます。食事は楽しく食べることを基本として、ゆったりと急がせず、個々の子どもの様子に合わせて食事の援助をしています。個人差や食欲に応じて量を加減し、食べられるものが少しでも多くなるよう、声掛けし、食べられたことを褒め、食べる意欲を引き出すよう援助しています。食器や食具は年齢や発達に合わせた大きさのものを使用しています。保護者には、献立表や給食だよりで取組を知らせる他、作品展で食育活動の取組を伝えています。</p>	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント></p> <p>季節感を大切に旬の食材を使い、季節の行事に合わせた献立や郷土料理を取り入れています。食材は安全性を重視し、納品後は適切な温度管理をして保管し、記録しています。給食会議では、クラス担任から子どもの食べる量や嗜好状況等を聞き、残食記録と共に状況を把握しています。把握した内容は次に反映し、切り方や調理方法を工夫しています。栄養士は給食時にクラスをまわって食事の様子を見たり、毎月の食育活動の日に子どもたちと話をする機会を持っています。栄養士は毎年、衛生管理に関する研修を受け、給食室の衛生管理は「衛生管理マニュアル」に沿って適切に対応しています。</p>	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>登園時に家庭での様子を聞き、降園時にその日の子どもの様子を伝え、保護者と日常的な情報交換をしています。乳児クラスは保育園向けアプリを活用して毎日の家庭と園との連続性を考慮した情報交換を行っています。年1回の保育懇談会で保育の意図や保育内容について話をする機会を持っています。また、ドキュメンテーションを導入して、日常の活動の様子を毎日写真で伝える他、行事を動画配信して保護者が保育内容を理解し、子どもの成長を共有できるよう支援しています。個人面談では、保護者との情報交換の内容を記録しています。</p>	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>職員は、毎日の送迎時に保護者に声掛けをして、コミュニケーションを図り、日頃から保護者と信頼関係が築けるよう努めています。園のしおりの「ご家庭と保育園のより良い連携を目指して」の項で『ご相談やご要望をお気軽に保育士または園長にお声かけください』と記載し、いつでも相談を受ける姿勢を保護者に示しています。個人面談は、期間を設けて実施する他、随時行っています。保護者の就労等の個別の事情に配慮して、個々の保護者の都合に合わせることもあります。相談の際は、プライバシーが守られる環境を用意し、落ち着いた話ができるよう配慮しています。相談内容は、記録し、職員間で周知するとともに、園全体で見守る体制となっています。相談を受けた職員が適切な対応ができるよう、施設長から助言を受けられる体制となっています。</p>	
【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p><コメント></p> <p>職員は、「児童虐待対応マニュアル」を定期的に読み内容を確認しています。虐待等権利侵害の兆候を見逃さないよう「虐待予防のためのチェックシート」を整備し、把握に努め、早期発見を心掛けています。虐待等権利侵害があると感じた時は、速やかに保育所内で情報を共有し、適切に対応を協議する体制が取られています。恐れがある場合は、こちらから声掛けをするなど配慮しています。職員に対しては、虐待等権利侵害に関する研修を通して理解を促しています。横浜市北部児童相談所等の関係機関とは、施設長が担当となって連携を図っています。</p>	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>年間指導計画や月間指導計画、週案などの指導計画や保育日誌などの記録は、振り返りを文章化できる書式になっており、自己評価は意図とした保育のねらいが達成されたか記入しています。保育の自己評価は、クラスで活動を振り返り、子どもの意欲や取り組む過程を意識して作成しています。保育士は、自己評価を定期的に行い、振り返りを次の計画に反映させています。乳児会議や幼児会議では、それぞれのクラスの問題提起に客観的な立場から様々な意見が出され、学び合いや意識の向上に取り組んでいます。また、職員の意見から「わらべうた」を年間を通して学び、保育で実践するなどの取組が専門性の向上につながっています。職員の自己評価を、主任とクラスリーダーがまとめ、それを基に園の自己評価を作成しています。</p>	